

## 沿革の概要

(明治5年 学制発布、小学教則公布)

明治 8～9年	奈路小学校・親ヶ内小学校・黒石小学校創立
明治10年	前記三校を統合して黒石小学校創立
明治20年 7月	黒石簡易小学校と改称
明治24年	道德大鶴津に同校の分教場を設置
明治26年	黒石尋常小学校と改称
明治27年 4月	東又尋常高等小学校と改称 尋常科4年、高等科4年
明治37年	東又村立第一裁縫学校併設
明治41年	尋常科6年が義務制となり、高等科2年を併設
大正 4年	高等科を3年生とする
大正11年	校舎を榎畑より茶園畑に移転
昭和 4年	東又実業公民学校を設置により、東又村立第一裁縫学校を廃止
昭和10年	東又実業公民学校を廃止 東又青年学校併設
昭和16年 4月	国民学校令により東又尋常高等小学校を東又国民学校と改称
昭和18年	東又青年学校が独立
昭和22年 4月	学制改革により東又村立東又小学校と改称 高等科に該当する者は、東又村立東又中学校へ入学
昭和24年11月	校舎改築
昭和27年	東又村教育委員会の管理下に入る
昭和30年 1月	町村合併により窪川町立東又小学校と呼称する
昭和42年 6月	水泳プール完成
昭和46年 6月	屋内体育館完成
昭和53年 3月	坂本教育文化賞受賞
昭和53年 9月	開校百年記念事業の実施 (式典、榎杏館の建設)
昭和53年 9月	100年記念誌(榎と銀杏)の発刊
昭和57年 4月	障害児学級「あさぎり」設置
昭和60年	新校舎(現在の)完成
昭和60年 4月～	落成記念事業(予算約900万円)を実施
平成 2年 3月	文部省道徳教育研究指定を受ける
平成 6年 3月	屋内体育館新築落成
平成13年11月	ビオトープ「みちくさ広場」第1期落成
平成14年 7月	非常階段防護柵設置
平成15年 3月	ビオトープ「みちくさ広場」落成 1階ホール南側玄関ポーチ補修
平成15年 5月	体育館通路補修、プールポンプ室外装改修
平成17年 2月	学校林間伐完了
平成17年 3月	ビオトープへ手作りベンチ設置

平成17年	4月	職員トイレ水洗化
平成17年	10月	時計台天井改修（アスベスト）
平成18年	3月	町村合併により四万十町立東又小学校と呼称する
平成20年	3月	時計台壁改修
平成20年	4月	特別支援学級「あおぞら」設置 東外倉庫設置
平成20年	6月	プール日除け設置
平成20年	8～9月	給食搬入関連工事 （校舎北側通路舗装、給食搬入口屋根設置、給食搬入口設置・湯沸し室改装）
平成21年	2月	プール部分改修（濾過器交換・水源を水道に切り替え）
平成21年	4月	完全給食開始
平成22年	3月	太陽光発電システム完備
平成23年	4月	志和小学校を統合する スクールバス（志和線）運行開始
平成23年	11月	榎杏館改修工事（屋根の吹き替え・床板の張り替え）
平成25年	4月	特別支援学級「たんぼぼ」設置
平成27年	4月	2、3年生複式学級となり、7学級編成となる。
平成28年	4月	すべての学級が単式学級となり、8学級編成となる。
平成29年	3月	デジタル教科書、電子黒板導入（町内）
平成30年	3月	プール棟改築工事完了
平成30年	4月	特別支援学級「たんぼぼ」廃止
平成30年	4月～	学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校となる（2年間）
平成30年	6月	プール落成記念式典
平成30年	7～8月	ビオトープ大規模改修工事
平成30年	8月	ビオトープ完成記念式典
平成31年	4月	特別支援学級「あおぞら」廃止
令和元年	6月	第70回全国植樹祭へ参加 平成30年度全日本学校関係緑化コンクールで「準特選」受賞
令和元年	11月	東又小学校PTAが文部科学大臣表彰を受賞
令和元年	11月	第2期高知県教育振興基本計画推進奨励賞受賞
令和2年	1月	学校図書館を活用した「読み」を鍛える拠点校 研究発表会
令和2年	4月	高知の授業の未来を創る推進プロジェクト「高知の授業づくり 講座（国語）」拠点校
令和3年	4月	令和3年度言語能力・情報活用育成プランにより加配教員配置
令和4年	5月	各学年へインターフォン（電話子機）設置
令和4年	12月	児童用トイレ（1・2階）改修工事完了
令和5年	3月	職員トイレ・多目的トイレ・体育館トイレ改修工事完了 学校保健活動優秀校を受賞